

建築研究所ニュース



平成 30 年 1 月 31 日

政策研究大学院大学・建築研究所共催研究発表会
「都市・住宅・建築分野における ICT・IoT・AI 技術の可能性・課題・展望」について

国立研究開発法人 建築研究所では、平成 30 年 2 月 21 日（水）に、「都市・住宅・建築分野における ICT・IoT・AI 技術の可能性・課題・展望」と題して、国立大学法人 政策研究大学院大学との共催による研究発表会を開催いたします。詳細は、別紙資料のとおりです。

最新情報については、国立大学法人 政策研究大学院大学のホームページ（<http://www.grips.ac.jp/jp/events/>）を御確認ください。

（問合せ先）

国立研究開発法人 建築研究所
所属 企画部 企画調査課
氏名 武藤 秀明
電話 029-864-2151（代表）
E-mail kikaku@kenken.go.jp



政策研究大学院大学・建築研究所共催 研究発表会
**「都市・住宅・建築分野における ICT・IoT・AI 技術の
 可能性・課題・展望」**



趣旨 今日、都市・住宅・建築物の分野においては、地球温暖化に伴う気候変動や資源・エネルギー問題によって経済・社会等に重大な影響が及ばないように、温室効果ガスの排出削減に資するエネルギー利用の高度化、炭素の貯蔵に資する木材利用の促進、産業廃棄物の削減に資する建設副産物のリサイクル等、低炭素社会の構築に貢献することが求められています。また、建築ストックの再生・活用、維持管理の適正化、高齢者対応等、我が国における人口減少・少子高齢化に対応した住宅・建築・都市の維持・再生を実現することが求められています。

一方近年、ICT・IoT・AI技術の発展は著しく、ソサエティ 5.0 構想等も社会の耳目を集めています。都市・住宅・建築分野においても、これら技術の有効活用によって上記課題の解決を図ることが最終的な目標となることはいまでもありませんが、技術の導入によるメリット・デメリットを十分に検討し、これら技術の導入に伴う社会の変容についても、十分に情報を収集・分析し、熟慮する必要があると考えられます。

このため本研究発表会では、「都市・住宅・建築分野における ICT・IoT・AI 技術の可能性・課題・展望」に関する認識を深めることを目的として、ICT・IoT・AI 技術に関して具体的に検討を進められている学識経験者・実務者の方々による講演と、建築研究所と政策研究大学院大学が学識経験者・実務者の方々を対象として実施したヒヤリング調査等の概要に関する報告を実施することとしました。

日時 2018年2月21日(水) 10:00-12:00 (受付 9:30 から)

会場 政策研究大学院大学 想海樓ホール 定員：300名

主催 国立大学法人 政策研究大学院大学、国立研究開発法人 建築研究所

プログラム

10:00-10:05 **主催者挨拶**

沓澤隆司 政策研究大学院大学 教授

山海敏弘 建築研究所 持続可能プログラム PD (環境研究グループ長)

10:05-10:35 **基調講演**

野城智也 東京大学生産技術研究所 教授

「住宅・建築分野における IoT の可能性と課題」

10:35-10:50 **調査報告**

山海敏弘 建築研究所 持続可能プログラム PD (環境研究グループ長)

「都市・住宅・建築分野における ICT・IoT・AI 技術に関するヒヤリング調査等の概要」

10:50-11:20 **講演**

高田巖 (株) LIXIL Technology Research 本部 システム技術研究所 GL

「(仮) 住宅における ICT・IoT 技術の導入」

11:20-11:50 **講演**

竹内敬治 エネルギーハーベスティングコンソーシアム事務局長、NTT データ経営研究所 シニアマネージャー

「(仮) 都市・住宅・建築分野におけるエネルギーハーベスティング技術の可能性」

11:50-12:00 **質疑応答**

政策研究大学院大学位置図
 東京都港区六本木 7-22-1



入場無料 (事前登録制)

氏名、所属を明記の上、できるだけ2月16日(金)までにご連絡下さい。

定員になり次第申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

申込先：政策研究大学院大学 担当：杉浦

(E-mail: zizoku@grips.ac.jp)

講演者プロフィール



野城智也（東京大学生産技術研究所 教授）

専門分野：建築生産、サステナブル建築

1980年東京大学工学部建築学科卒業、1985年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。建設省建築研究所研究員、同主任研究員、武蔵工業大学建築学科助教授、東京大学社会基盤工学専攻助教授などを経て2001年より現職。生産技術研究所長、副学長を歴任。



山海敏弘（建築研究所 持続可能プログラム PD（環境研究グループ長））

専門分野：建築設備、レジリエンス、排水処理、水システム

1983年茨城大学工学部機械工学科卒業、2008年筑波大学学術博士。1983年建設省に入省後、官庁営繕部、住宅局建築指導課、建築研究所研究員、同主任研究員、同室長、国土技術政策総合研究所室長などを経て2014年より現職。



高田巖（(株) LIXIL Technology Research 本部 システム技術研究所 GL）

専門分野：ホームエレクトロニクス、未来住宅

1988年トーヨーサッシ（現 LIXIL）に入社。2001年よりホームネットワーク・未来住宅の研究・構想に着手。2009年より実験住宅にて建材、住宅設備機器、生活家電やセンサーを連動させ生活価値（QOL）を高めるコンテンツの創造を進める。実験住宅をベースにした LIXIL U2-Home（2014年）、LIXIL U2-Home II（2016年）を手掛ける他、東京大学「COMMAハウス」、LIXIL住研「コンセプトホーム12」「コンセプトホーム14」の建設に携わり、「住生活の未来」に向けた研究・発表を続ける。



竹内敬治（エネルギーハーベスティングコンソーシアム事務局長、NTTデータ経営研究所 シニアマネージャー）

専門分野：エネルギーハーベスティング、IoT

1986年京都大学工学部原子核工学科卒業、1988年京都大学大学院工学研究科（原子核工学専攻）修士課程修了。株式会社三菱総合研究所などを経て、2010年5月より現職。JST A-STEP「IoT、ウェアラブルデバイスのための環境発電の実現化技術の創成」プログラムオフィサー。JST CREST・さきがけ複合領域「微小エネルギーを利用した革新的な環境発電技術の創出」領域運営アドバイザー。